

出征した馬たちの記録

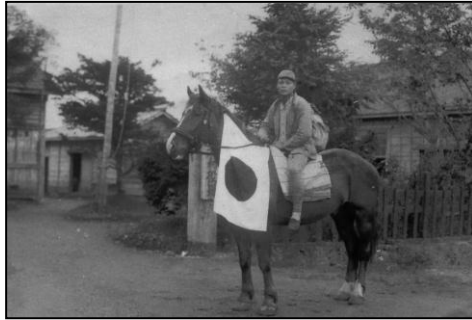
「戦争と馬産」展がはじまります

平成 27 年度の資料館特別展がいよいよ開幕します。

日本が経験してきた戦争では、多くの動物たちも命を落としました。今回は白老とも縁が深い動物である馬に注目し、日清戦争以降の馬匹改良と増産の歴史を紹介します。北海道が優良馬の産地として着目されていたこともあり、戦地に馬を送った逸話は、道内の至る所に残されています。

色々な施設にご協力いただき、100 点以上の資料を集めることができました。

大砲を運搬するための鞍や、長らく軍属した馬匹へ送られた報償などに加え、貴重な記録写真も数多く展示しますので、これを機会に戦争と馬産の歴史に触れてください。お待ちしております。



＜白老から出征した軍馬の記念写真＞

会 期：平成 28 年 3 月 26 日(土)～4 月 17 日(日)

会 場：仙台藩白老元陣屋資料館

入館料：高校生以上 300 円、小中生 150 円

休館日：毎週月曜日

その他：期間中は町民無料

仙台陣屋 かわら版

第 124 号

(平成 28 年 3 月号)

発行：仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666



＜火災発生のチセからお客さんと避難(上)＞

＜火元へ向かって放水(下)＞



文化財を火災から守るために

大切にしてきた宝物も、一瞬の油断や過ちで失われてしまいます。それが二度と手に入らないものなら、悔やんでも悔やみきれません。日頃から何回も訓練を重ね、いざという時のために備えることが大切なのは、文化財の保護でも一緒です。

文化財防火デーにあわせた避難・消火訓練が、1月27日(水)にアイヌ民族博物館で実施されました。様々な来場者の避難誘導や、貴重な漆器類の保護など、短時間でやることは沢山あります。訓練に立ち会った消防署長は訓練後の総評のなかで、「計画と行動を繰り返すとともに、検証と反映を忘れないように」と述べました。火事は起きないことが何よりも大切。しかし絶対はありません。だからこそ、万が一に備えた訓練が必要なのです。

「麗しの雛人形展」が開幕しました！



＜展示したお雛様の様子＞

今年も上巳の節句に合わせて、資料館恒例行事の「麗しの雛人形展」が開幕しました。近年では雛人形を飾るご家庭が少なくなっていると聞きます。皆さまのご家庭は、いかがでしょうか？

この慣習は、古くは平安時代の貴族の間で行われていた人形遊びである「雛遊び」と、厄を人形に移して流す「上巳の祓い」が結び付き、江戸時代頃に現在のような上巳の節句の形になったといわれています。

そんな元々は厄祓いの役割を持っていた雛人形を、今年は段飾りや掛け軸を合せて23セットの他に、手作りの雛人形をロビーと展示室に飾り付けました。見上げる大きさの8段飾りから、戦前の貴重な品、ユニークな変わり雛など様々なお雛さまが皆さまをお待ちしていますので、是非資料館までお越しください。展示期間は3月5日(土)までとなり、町内の方は無料で入館して頂けます。

2月13日(土)には今年で5回目となる『お雛さまの手作り体験教室』を実施しました。町内外から21名が参加され和気あいあいとした雰囲気の中、次々と手の平サイズの可愛いお雛さまが作られていきました。



＜体験教室の様子＞

陣屋で『お雛さま会』は いかがですか？

- 時間 13:00～15:30
- イベント 絵本の読み聞かせ/甘酒・御抹茶/ひな祭りクイズ/お雛さまを飾ってみよう!/折り紙で作るお雛さま/流し雛体験
- 料金 参加料は無料です(町外の方のみ入館料を頂きます)

煌びやかなお雛さまと一緒に楽しい時間を過ごしてみませんか？こちらも恒例行事である「お雛さま会」を、展示期間最終日の3月5日(土)に開催します。絵本の読み聞かせや、甘酒の提供、今年初めて実施する「流し雛体験」など、楽しい企画が目白押しとなっています。予約はご不要ですので、お気軽にお越しください。

「仙台陣屋かわら版124号(平成28年3月)」

発行日平成28年2月23日(火)

発行所: 仙台藩白老元陣屋資料館 担当者: 平野・工藤

<http://www.town.shirai.hokkaido.jp/danka/jinye/>

Mail: jinye@town.shirai.lg.jp

TEL: 019-210000